

発電事業進出に向けた事業会社への出資

当社は、2019年9月30日付で、東芝エネルギーシステムズ株式会社の100%子会社で発電事業を手掛けている株式会社シグマパワー有明（以下、シグマパワー有明）へ20%の出資参画を実施し、発電事業へ本格的に進出いたします。

事業環境の変化に対応し、当社では、新たな市場・事業領域の拡大に向けた検討を推進しております。その一環として、従来の発電所建設の経験を活かし、発電事業への参入を図るべく、2018年8月に「発電事業推進室」を設置し、事業化への準備を進めてまいりました。

シグマパワー有明は、2017年4月から福岡県大牟田市の三川発電所（50MW）でPKS^{※1}を燃料としたバイオマス発電事業を行っております。今般、三川発電所隣接地に新たに大牟田発電所（22.1MW×2基、2022年春に営業運転開始予定）の建設を進めており、当社もこのプロジェクトにおいて、建設管理業務を支援しております。

当社は、これまで国内外において多くの中小型火力発電設備を納入しておりますが、今回のシグマパワー有明を足掛かりに、発電事業へ出資参画することにより、従来の発電設備の建設や改良保全に加え、今後は運転・運営まで事業領域を拡大してまいります。

また、発電事業者として得る知見やノウハウを活用するとともに、東芝グループの持つIoT^{※2}やCPS^{※3}技術を展開することにより、既存のEPC^{※4}ビジネスの高度化や、改良保全ビジネスの拡大を図り、東芝グループの事業拡大へ繋げてまいります。

- *1 PKS：Palm Kernel Shellの略称 アブラヤシ（パーム）の種の殻部分で、パーム油・核油を生産する過程で発生する農作物残さ廃棄物。
- *2 IoT：Internet of Thingsの略で、様々な機器をネットに接続して状況の把握や遠隔操作を行うこと。
- *3 CPS：Cyber Physical Systemの略で、実世界（Physical）におけるデータを収集し、デジタル技術などを用いて分析・活用しやすい情報や知識とし、それを実世界にフィードバックすることで、付加価値を創造する仕組み。
- *4 EPC：Engineering（設計）、Procurement（調達）、Construction & Commissioning（施工・試運転）までの一括請負。

■シグマパワー有明の概要

| | |
|------|--|
| 商号 | 株式会社 シグマパワー有明 |
| 設立日 | 2005年4月1日 |
| 所在地 | 東京都港区芝浦一丁目1番1号 |
| 代表者 | 藤本 茂樹 |
| 資本金 | 2,345百万円 |
| 出資比率 | 東芝エネルギーシステムズ株式会社 80% 東芝プラントシステム株式会社 20% |